

「組織としての記憶」、自治医科大学附属さいたま医療センター副センター長医療安全・渉外対策部教授の遠山信幸先生に「M&M検討会のノウハウ」、医療法人鉄蕉会亀田総合病院医療安全管理室セーフティマネージャーの高橋静子先生に「大小さまざまな院内事故検討会の運営」、公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院師長の岩崎みどり先生に「RCA (root cause analysis.根本原因分析法) 実践への要点」をご講演いただきました。

シンポジウムは、12のシンポジウムを企画いたしました。本学術総会のテーマと同じメインシンポジウム「今、医療・介護に大切なこと～変革に挑戦する～」では、公立大学法人埼玉県立大学理事長の田中滋先生と社会医療法人財団慈泉会理事長/社会医療法人財団慈泉会相澤病院最高経営責任者の相澤孝夫先生に座長の労をお取りいただき、相澤先生に「大きな変革期を迎えた病院に望むこと」、大阪府健康医療部部長の藤井睦子先生に「これからの医療提供体制を考える～地域医療構想・働き方改革・医師確保～」、公立大学法人奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授の今村知明先生に「人口構成の変化に伴う医療介護に求められている変化」、公益社団法人日本看護協会副会長/関東学院大学看護学部看護研究科教授の齋藤訓子先生に「共生型社会に貢献する看護の新たな働き方～人口減少時代を見据えて～」と題して講演いただきました。その他に、本学会が職種横断の学会という特徴から、今後さらに求められる様々な改革や連携に関連するテーマを取り上げました。S2「臨床スタッフの負担を軽減するーポリファーマシー 多職種による対策・連携ー」、S3「これからの医療・介護領域を見据えた経営面からの栄養マネジメント～栄養管理情報の連携と栄養マネジメントが日本を救う～」、S4「災害時におけるBCP」、S5「特定行為研修制度のこれからの発展」、S6「医療安全を感染対策の視点から考える」、S7「医師事務作業補助者ー専門職としてさらなる高みを目指してー」、S8「医療における「品質管理」～第三者評価・クリティカルパス・QCサークル活動・PFMからTQMへ～」、S9「タスクシフティングはどこまで進んだか」、S10「IoT・ビッグデータ・AI時代の医療と介護」、S11「地域連携クリティカルパスで得られたもの」、S12「これからの医療福祉介護連携で大切なことー医療福祉連携士への期待・役割ー」と、ご参加いただいた座長および演者の先生方による活発な討論が行われました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。また、各企業のご協賛のもと24の共催セミナーが行われ、多くのご参加をいただきました。

最後になりましたが、宮崎理事長をはじめ、学会会員の諸先生、事務局の皆様には学術総会の準備に際し

大変お世話になりました。また、シンポジウムやプログラムの企画では多くの先生方にもご助言をいただき、様々なテーマを企画することができました。紙面をお借りして、深く感謝申し上げます。

来年度の第24回日本医療マネジメント学会学術総会は、地方独立行政法人加古川市民病院機構加古川中央市民病院理事長院長 大西祥男先生を会長として兵庫県神戸市で開催されます。コロナウイルスも落ち着き、現地で皆様とお会いできますことを祈念致しております。

## 支部学術集会開催報告

### 第13回宮城県支部学術集会

学術集会会長：国立病院機構仙台医療センター  
院長 上之原 広司

2021年7月10日(土)に仙台医療センター大講堂を会場としWebも可能としたハイブリッド方式で開催しました。昨



会場風景

年はコロナ禍で中止したため2年ぶりの開催となりました。テーマは東日本大震災より10年の節目であり「災害対策」、この1年数か月対応に苦慮してきた「COVID-19対応」としました。「災害対策」は災害対応マニュアル、災害訓練、BCP等が報告され、「COVID-19対応」は各病院の職種ごとの報告があり活発な議論がされました。特別講演は「ITによる現場の見える化」～災害時の現状把握に役立つ映像と通信技術について～トライポットワークス代表取締役社長の佐々木 賢一氏にご講演をいただき、IT化、DXについての豊富なご経験も紹介されました。最後にCOVID-19講演会として当院感染対策室の石栗広志より当院の対応を報告しました。発表演題は27題、参加者は会場70名、Web参加34名でした。

ハイブリッド方式は初めての経験でしたが皆様のご支援により無事開催できたことを感謝いたします。

### 第15回兵庫支部学術集会

学術集会会長：赤穂市民病院院長 藤井 隆

2021年8月16日(月)～8月29日(日)、第15回兵庫支部学術集会をWeb(オンデマンド形式)にて開催いたしました。今回は、テーマを「医療従事者の働き方改革」とし、期間中に特別講演3題、共催セミナー2題、一般演題98題を配信いたしました。